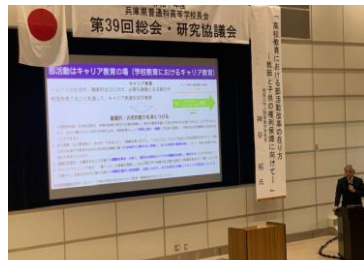


兵庫県普通科高等学校長会に参加して 9月19日に県立、市立、私立高校の普通科校長会の総会並びに研究協議会に



参加しました。恒例の①情勢報告では全国普通科高等学校長協会事務局長(元神奈川県立高校校長)が文部科学省の動向を報告されました。先日、小中学校の次期学習指導要領に盛り込む内容について教育課程の柔軟さが報告されていましたが、高校でも「多様なことも達を包摂する柔軟な教育課程のあり方」

ということが考えられており、標準授業時数にかかる柔軟性、学習内容の学年区分にかかる弾力性、単位授業時間や年間の最低授業週数の示し方などが検討されているということでした。興味関心を広げ、教材学習方法の選択を促進、探究的な要素を持つ学習活動の充実など、今まで以上に「個」を意識して「自らの人生を舵取りできる民主的で持続可能な社会の創り手をみんなで育む」ことを主眼とする内容だそうです。さらに、教科「情報」に関しては、小学校、中学校からの発展的な内容を盛り込み情報活用能力の育成にポイントが置かれる内容になるようです。また、「余白の創出」による教育の質の向上を目指す方向で、指導すべき内容や分量の多さやそこからくる教科書通りの授業を行うことによる創意工夫や力量向上を阻んでいる側面があることなどが課題としてあげられており、その検討が進められているとのことでした。本校でも学校設定科目による選択科目を取り入れることに関して、検討を進めており、今後そういった動きが学習指導要領に示されて加速していくという実感を持ちました。生徒のやる気を促す授業や学習内容、自らが取り組む姿勢を身につけるための仕掛けを私たち教員がしっかりと考えて行かねばならないと思いました。今後の文科省の動向に注目しつつ、神港学園高校としての取り組みを進めていければと思います。また関西大学神谷教授から②「高校教育における部活動改革のあり方-教師と子どもの権利保障に向けて-」と題しての講演がありました。部活動の地域移行に関する話で、中学校ですでに地域移行が始まっており、神戸市でも次年度9月から「コベカツ」として市内全域が地域移行します。神谷教授の話では、地域移行が進まない理由は4つ、「施設がない」「クラブがない」「お金がない」「受益者負担・経済格差」といわれました。諸外国に比べ人口あたりの施設数は明らかに少ない状況で、地域によっては施設がないところもあります。またクラブも然り。お金に関しては、教員のやる気に支えられていたと言っても過言ではない状況で、クラブ活動が続けるのに費用が発生すれば、経済的な影響は少なからず出てきます。しかしながら、次年度以降中学校で導入される地域移行は進めていかねばならない状況ですから、人材確保、人材育成、経済的な補償など少しずつでも進めていくことになるでしょう。私たち私学としてもどのような進め方をするのか注視していく必要がありますし、高校での部活動における様々な考え方に対応できるようにしておかねばならないことを考えさせられました。①②の他には学校紹介など他校の現状も理解でき、とても良い時間を過ごさせていただきました。

世界陸上を見て 13日から熱戦が続いた世界陸上が終わりました。34年ぶりの東京開催。日本では2007年に大阪で開催されて以来となります。期待されながら力を発揮できなかった選手、実力を発揮できなかった選手は大変苦しい思いをしたと思います。しかしながら、60万人を超える応援が9日間あったということは素晴らしいことで、その中で競技ができたことに誇りを持ってほしいですし、その思いを引き継いでいってほしいと思っています。また、大会を支えるボランティアの方々も3000人以上おられたとのこと。国立競技場にサブトラックがなく、移動に15分かかったことは選手から意見もあったようですが、大会運営や声援の大きさ、日本だけでなく海外の選手への応援も考えると良い大会であったと思います。選手スタッフ関係者の皆さんお疲れ様でした。私自身短距離選手でしたので、短距離種目特にリレーに目が行くのですが、日本は従来より個人種目でなかなか決勝まで行くチャンスがなかったので、リレーに力を入れてきました。4×100mリレーはバトンパスが命ですが、海外の選手が個人種目にかかる分、リレーでの上位進出のチャンスは大きく、バトンパスもアンダーハンドで行うなどより加速の利いた状態でバトンを渡すことに長けてきました。その成果が何回かのメダル獲得にもつながりましたが、今回は6位入賞という結果で、やはり個人種目で準決勝進出レベルが必要だと感じさせられました。個人のレベルアップには仲間が不可欠です。そういった場面も垣間見れた世界陸上。多くのことを感じさせてもらって、チームとして、組織として機能するためにやらねばならないことを感じさせてくれました。